



2011年1月17日  
 発行 相原まちづくり協議会  
 責任者 理事長 杉崎太吉  
 所在地 町田市相原町 798-1  
 電話 042 (774) 8005

## 大戸地区に緑を活かした都立公園を造成 平成24年に開園へ

大戸地区に緑地を生かした大規模な都立公園が造成されることになりました。整備は今年度から、すでに着工しており、平成23年度、24年度から順次、開園する計画です。東京都建設局西部公園緑地事務所の説明によると、東京都は大戸地区に123、9㍊の山林を所有していますが、その土地の中に「環境再生エリア」「谷戸の水辺エリア」「農体験エリア」「レクリエーションエリア」を造成することになっています。



このうち、「環境再生エリア」と「谷戸の水辺エリア」の計画が具体化しており、両エリアとも平成23年度に整備を完了することになっています。

「環境再生エリア」は大戸の牛田谷戸地区の約4,4㍊に造成します。平成21年度は地盤造成 駐車場までのアプローチ道路の舗装 多目的広場（芝張り） 駐車場 水道、電気配管などの地下埋設物の敷設を完成させます。22年度、23年度は 管理施設（講習や会議の出来る管理棟、トイレ、山野草や花木等を育てる苗圃） 公園入口 在来の山野

草、花木等の群落地 若宮八幡の裏を経て雨乞い場の碑に至るハイキング路 樹林地の手入れを予定しています。

「谷戸の水辺エリア」は大戸の段木入谷戸地区の約6,1㍊に造成します。

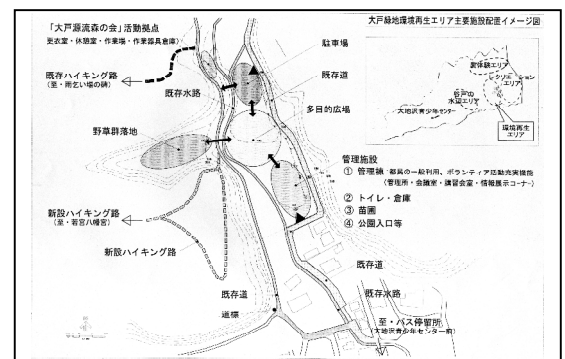
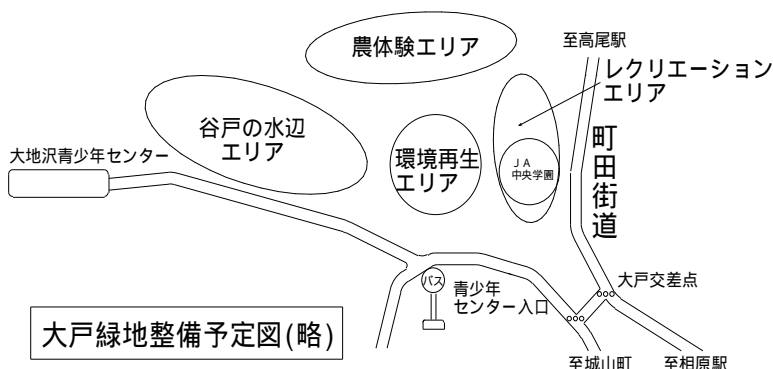
21年度は 段木入谷戸と大地沢青少年センターを結ぶハイキング路 山頂の展望広場 谷戸の平坦部の小広場を整備しています。22年度は樹林地の手入れをすることになっています。

隣接しているJA中央学園の土地15㍊についても、JA全国中央会と買収について話し合うことになっています。

また、ボランティアで公園整備している「大戸源流森の会」の活動拠点（作業小屋）の周辺も整備することになっています。

大戸の緑地整備の考え方は「自然とのさまざまなふれあい・体験活動を通して、自然や環境問題を楽しみながら学べる里山緑地」です。

整備目標として 樹林の適正管理を行い、里山の自然環境、自然景観の保全・再生 里山の資源を活かした自然観察や環境学習、農業・林業体験の場の整備 里山の特性を活かした野外レクリエーションや自然とのふれあい活動が楽しめる環境の整備 希少価値などを含む山野草や在来の花木などを育成し、樹林地への植栽、復元することにより、地域環境を継続的に維持、をあげています。



環境再生エリア詳細

## 相原地区市政懇談会を開催 中央公園前通路拡幅は23年度までに

石坂丈一町田市長ら市幹部と相原地区連合町内会などとの相原地区市政懇談会が11月12日、堺市民センターで開かれました。この中で石坂市長は「市政懇談会は当初、資料がなく分かりづらかったが、資料を付けるようになってから、お互いの理解を深めることができるようになった。また、説明の仕方も相手がわかるように、役所言葉を避けて話すように努力してきた」と語っていた。市側の主な回答は以下の通りです。

**<質問>** 低所得者層や老人世帯に下水道工事の補助金や負担金の軽減措置策はできないか。

**<回答>** 補助金や負担金の軽減措置について現在変えていない。切り替え工事についての費用に対しては、切り替え方法で貸与額が変わるが貸付制度があるのでご利用頂きたい。

**<質問>** 下水道局は、私的問題について最初にきちんと説明すべきだ。説明の内容が不十分、来年度工場区画の住民に対して再度詳細の説明会を下水道局に要請したが、十分な説明や働きかなどの努力する必要がみられない。

**<回答>** 「私道の工事」についての案内通知を再度出すが、関係者全員の承諾が得られないと工事は出来ない。いろいろ、行き違いがあって、お詫びする。市は「私道設置要領」に基づいて工事を進めている。個人所有の土地に公共の物を設置するためには関連する土地所有全員の承諾がなければ工事はできない。

**<質問>** 中央公園前の道路拡幅のその後の進ちょく状況を聞きたい。

**<回答>** 堺344号線事業区域の測量は終了して、用地買収を行っていく。平成23年度までには目途を付けたい。

**<質問>** 自然豊かな相原は週末になると大勢の人が散策に訪れるが、トイレが無くて困っている。

**<回答>** 今年度末までにトイレについて基本的な見解を出す予定である。山中に必要な、下水道との関連をどうするか等検討する事項がいくつかあるので、今少し時間を頂きたい。相原駅前にトイレ設置を検討中である。

**<質問>** JR相原駅から八王子みなみ野に通じている市道は、道幅が狭く、カーブが多い。最近では通過する車両も増え、歩行者や自動車が危険な目にあっている。安全対策をして欲しい。

**<回答>** 今年度中に一面ミラーを二面のものに付け替える予定だ。9月に看板を設置済み。文字溶着については管轄の警察署と協議中である。スピード違反の取締は管轄署に伝えたが、地元町会から要望をあげて欲しい。

**<質問>** 圏央道開通後は更なる渋滞が予想されるため、八千代銀行相原支店から八王子境までの町田街道各幅整備事業の早期実現を望む。

**<回答>** 過去に市の「都市計画マスタープラン」を出しているが、業務化の目途がたった時点で「新都市計画マスタープラン」を作成する予定。「大戸踏切立体化事業計画」を最優先して都と連絡調整を図りながら進める。

**<質問>** 小型ワンボックスのコミュニティバス運行を望む。

**<回答>** 地域コミュニティバス事業には、市民、行政、事業者の3者の役割が存在する。地域に受け皿の団体を用意することから出発する話である。

**<質問>** 中央公園や相原こどもセンターの場所が住民にとってかわりづらいので入口に「案内看板」を設置するように望む。

**<回答>** 中央公園とこどもセンターの両入口に今年度中に看板を設置する予定だ。

## 盛大に開かれた相原ふれあいフェスティバル

相原ふれあいフェスティバル 2009 は相原中央公園で10月11日に開催されました。心配された天気も快晴で主催者発表の参加者数は9200名でした。

特設会場での文化イベントを始めフリーマーケットや模擬店・各団体の展示等盛り沢山の催しでにぎわいました。今回から相原町周辺の大学の学生コーナー（ガクサイト）も開設され竹細工やエコバック作りなどを通じ地元とのつながりの場として活動していました。

相原まちづくり協議会もイベント会場の一角を借り子供たちの手形の陶板300枚を展示しました。この陶板は一昨年9月に開催した相原駅開業100周年記念行事の一環として相原周辺の子供たちの

手形を粘土にかたどったものを大地沢青少年センターの窯で焼き陶板にしたものです。

将来的には相原駅西口にモニュメントとして飾る計画です。写真は「わー私のがあった」と声をあげる子供。



## 寺田和雄・前町田市長のまちづくり講演会を開催 夕焼け小焼けの舞台は相原 文学散歩は街づくりの材料に

相原まちづくり協議会は第12回まちづくり講演会を11月1日、堺市民センターで開催しました。前・町田市長の寺田和雄氏が「文学のまち・相原」をテーマで行いました。寺田氏は相原とゆかりの深い八木重吉、中村雨紅氏等を取り上げ「文学散歩を街づくりの有力な材料にして欲しい」と語っていました。



寺田和雄氏の講演内容は以下の通りです。

相原は青木得庵、青木正太郎さんら昔から有名な人を輩出しています。文学でも同じです。

八木重吉さんは、町田の宮沢賢治ではないかと思っています。キリスト教徒だったため、キリストの愛に包まれた内容の歌が多く、当初は高く評価されませんでした。高村光太郎が絶賛したように、すばらしい歌人で、町田の誇りです。キリストの愛とともにお母さんを大変に慕っていました。奥さんのとみさんに会ったことがあります。しっかりした方で、ミカン箱一つに詩集を残していたことで、今日、われわれは歌を見ることができます。

「夕焼け小焼け」についてですが、実は中村雨虹の詩集をめくっていたら、相原に住んでいたことを知りました。相原のどこかと聞いたのですが、最初は、なかなか分からず、そのうちに諏訪神社の宮司の中村家と知りました。中村家に伺い、いろいろ話

しを聞きました。中村雨紅さんが師範を卒業して学校の先生をやりながら、相原に養子にきたことがわかりました。中村家には男子がいなかったため、親戚の恩方村（現・八王子市）の高井家からの養子縁組でした。雨紅は情操教育の必要性を感じ、多くの童謡を執筆しています。大正12年に結婚する時に中村性から元の高井性に戻っています。

雨紅は、生前、夕焼け小焼けの歌の舞台はどこかと聞かれても、明確なことを云っていません。生まれた恩方に記念館ができ、八王子駅で流れるメロディは夕焼け小焼けです。しかし、恩方は山が高く、日が暮れるのが早いです。それに比べ、相原は日が暮れるのが遅く、南から西に尾根がありますから、場所によって富士山も見えます。夕焼け小焼けの舞台は相原の方が、合っています。八王子も夕焼け小焼けの里として一生懸命やっていますから、否定するわけにもいきません。町田も、夕焼け小焼けとゆかりがある所だよ、としていてもらいたい。町田と八王子が、いがみ合うのではなく、共に栄えるということにしたいです。

文学散歩は街づくりの有力な材料です。地方分権が叫ばれ、これから自分の知恵で歩いていく時代に入りました。自分の住んでいる所は、どういう特徴があるのか、良い街をつくるのに、どうしたらよいのか、文学散歩も重要なカギです。

質問：夕焼け小焼けは中村雨紅が相原に養子の時代の詞であり、歌の情景は相原と思って良いのか。

寺田：夕焼け小焼けは中村家の中村雨紅のペンネームで発表していますし、相原に籍を置いている時の詩であることは事実です。

質問：中村雨紅について、地元にも聞いたことがなく、知らなかったが、寺田さんがエッセイを書かれたのが、全国で初めてですか。

寺田：中村雨紅と相原について活字で世に知らしめたのは多分、私が初めてではないかと思っています。

## 輪投げ大会優勝は千歳会 A チーム

相原保善会主催の第9回輪投げ大会が10月25日武蔵岡中学校で19チームが参加して開催されました。各チーム5名、6回のセットの総得点で争われました。熱戦の末、優勝したのは千歳会 A チーム（武蔵岡団地）で得点は554点、準優勝は百年会 A チーム（丸山団地）で得点は532点、3位は友の会 A チーム（丸山）で得点は524点でした。また1セットの最高得点は延寿会 A チームの第6回目のセットで119点、2番は寿楽会 A チームの第1回目のセットで111点でした。

逆に1セットの最低得点は幼稚園チームと寿栄会 B チームの第1回目のセットの23点でした。昼食をはさんで老若男女和気あいあいの日でした。



## 相原中央公園の四季（初冬）

今年はいつになく美しかった楓の紅葉も終わり、今は、柚子が黄色い、南天が赤い実を付け、山茶花が綺麗に咲いています。12月の冬将軍の到来で落葉樹はすっかり葉を落とし冬の準備が整ったようです。公園職員は、春を夢見て山全体の下草刈に汗を流しております。山を綺麗にすることで絶滅危惧種に指定されている野草も蘇っています。また、池にはヤゴのお宿づくり、散策路の横にはカブトムシの家作りなどに精をだしています。夏は何匹飛び交うか、とても楽しみです。それらを(生き物マップ)にまとめる作業もしています。

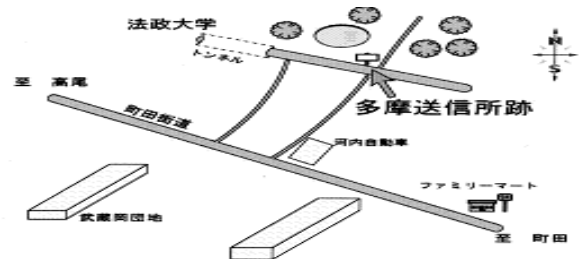
JAO会の方は、2・3月の炭焼きのためにコナラの間伐、枝打ち、運び出し、尺棒に合わせて切り落としなどの作業を、法政大学の学生ボランテ

ィアのエネルギーをもらいながらがんばっています。相原自然緑道の会の方には、新しい散策路作りをお願いしております。散策コースが広がり公園利用者の満足度向上に一役かってもらえるものと期待しています。年度末には完成予定です。3月末には、野外コンサートも計画しています。ご期待ください。2010年度も市民、相原町民、公園利用者のひとり一人の公園ビジョンや思いを聞かせていただき、計画・実践・反省まとめの精神を忘れずに、相原中央公園の一層の発展・充実を図って参りたいと考えております。ご指導、ご意見は直接公園事務室にお願いいたします。

(文責 井上善夫)

## 相原遺産 多摩送信所跡

法政大学校の正門を入りトンネルを抜けしばらく行くと左側に多摩送信所跡の碑石があります。碑石には次の碑文が書かれています。また碑石のそばにはアンテナの支柱の基礎部分が遺構として保存されています。



日本の戦後の平和は相原から始まったと言っても過言ではありません。したがってこの遺構は相原だけの遺産ではなく日本の遺産ではないでしょうか？

第二次世界大戦末期に近い1944年（昭和19）本土空襲の本格化に備え対外送信の確保が要請され、国際電気通信株式会社によって隠蔽送信所として多摩送信所の建設が着手された。当時の東京都南多摩郡堺村相原と横山村寺田にわたるこの地に、アンテナ敷地 74000 坪（244,000 平方メートル）を確保し、高さ 60 メートルの木支柱を立て、空中線六基を樹林にめぐらした。技術者、職員計 50 名が勤務する局舎を点在させ、翌年 4 月竣工し、5 月 5 日から操業を開始した。当時、我が国の対外送信は、政府関係以外に同盟通信社のモールス電と日本放送協会が諸外国語で流す「海外放送」および「東亜中継放送」があった。これらの対外送信は、1945 年 8 月 10 日から 15 日の間、日本政府のポツダム宣言受諾表明に際して歴史的な役割を果たした。政府の外交ルートとは別に、ポツダム宣言受諾に関するニュースを送り出したのである。ここにあった「多摩送信所」も木造、手動による回転式アンテナから電波を送ることによって、ポツダム宣言受諾の際に重要な役割を担い、1946 年 11 月 10 日、開設以来一年半で活動の幕を閉じた。本学の多摩校地は多摩送信所の跡地に位置し、発掘調査により一部の遺構も確認された。ここにその事歴を誌し、永く後世に伝えるものである。

1988年3月30日 法政大学

### 研修旅行で新潟県に

相原まちづくり協議会は11月15日、16日に新潟県、長野県に研修旅行を行いました。NHK大河ドラマ「天地人」越後上越のゆかりの地を訪ねました。一行23名は貸切バスで、紅葉で美しい長野・新潟の山々を見ながら、上越市に入り、越後上越天地人博、林泉寺、春日神社を視察。16日は高田城跡、道の駅あらいを視察、長野県でリンゴ狩りをしてきました。